

特集2

## 2019年2月13日 新春トップセミナー



来賓挨拶

大阪大学 理事・副学長 八木 康史 氏

大阪大学理事・副学長を仰せつかっております八木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は本セミナーに多数お集まりいただきありがとうございます。私といたしましてもこのセミナーは重要なものと思っております。特に今回はSDGs。いま世界を含め注目を集めているキーワードを取り上げ、ご議論いただくということは今後の未来社会を考えていく上で重要なことだと思います。花山院さま、山本先生にご講演いただいて今後のあるべき姿を議論できるのではないかと思います。この次第です。

SDGsに関して大阪大学も未来を考えるということでいろいろ取り組みをしております。特に社会ソリューションイニシアティブ「未来につなぐ命」をテーマに3月19日にシンポジウムを開催いたしますので、お時間ございましたらご参加いただければと思います。命というキーワードが出てきましたが、関西万博が決まりました。こちらのテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ということで、「命」はSDGsに繋がる重要なキーワードだろうと思っています。我々自身、人というものを意識し考えてい

くということがこれからの未来社会を考えていく上で重要なのだらうと思います。

大阪大学におきましては昨年8月に文部科学省Society5.0実現化研究拠点支援事業「ライフデザイン・イノベーション研究拠点」に採択され、拠点活動をスタートいたしました。この事業は、Society5.0と呼ばれる、IoTやビッグデータ、人工知能等のイノベーションをあらゆる産業や社会生活に活用し、様々な社会課題が解決される社会の実現を目指す大学等の先端中核拠点を支援するものです。2月21日にキックオフシンポジウムを開催いたします。大阪を考えていく上で、未来がどうあるべきかということを実際に考えていくこと、大阪が魅力的になって多くのStand up企業が集まってきて活性化することが重要だと思います。そのキーワードとして「命」。今後、新たな取り組みが出てくることが重要だと思うので、一致団結して未来社会を考えることが出来ればと思います。大阪大学といたしましても精一杯努力したいと思います。

未来を考えること、本シンポジウムが大きな力となることを願いまして私からの挨拶とさせていただきます。